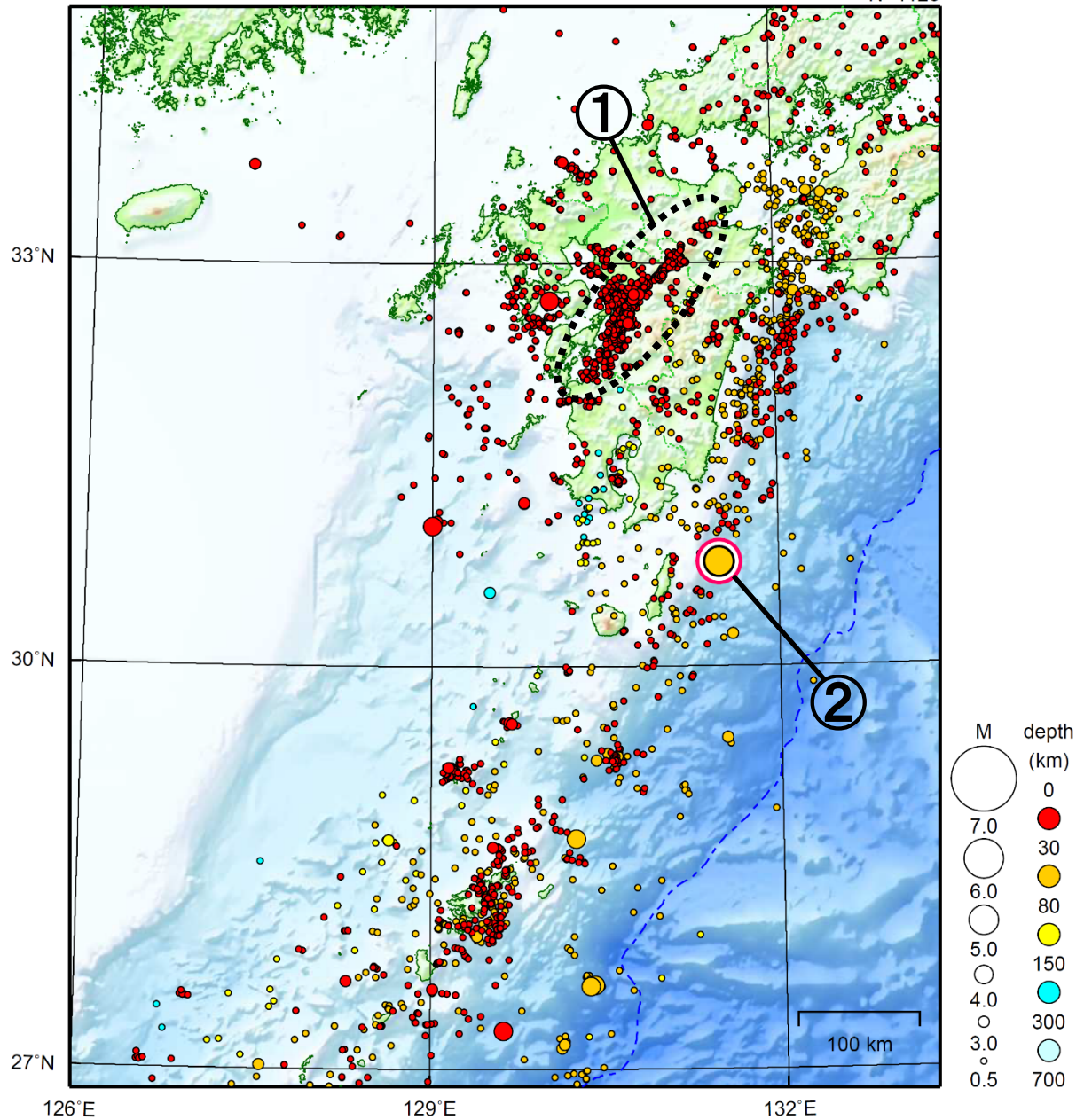


九州地方

2017/04/01 00:00 ~ 2017/04/30 24:00

N=4125



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 「平成 28 年(2016 年)熊本地震」の活動域では、今期間に震度 4 以上を観測する地震は発生しなかった。
- ② 4 月 29 日に大隅半島東方沖で M5.6 の地震（最大震度 3）が発生した。

（上記期間外）

5 月 4 日に熊本県熊本地方で M4.1 の地震（最大震度 4）が発生した。

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

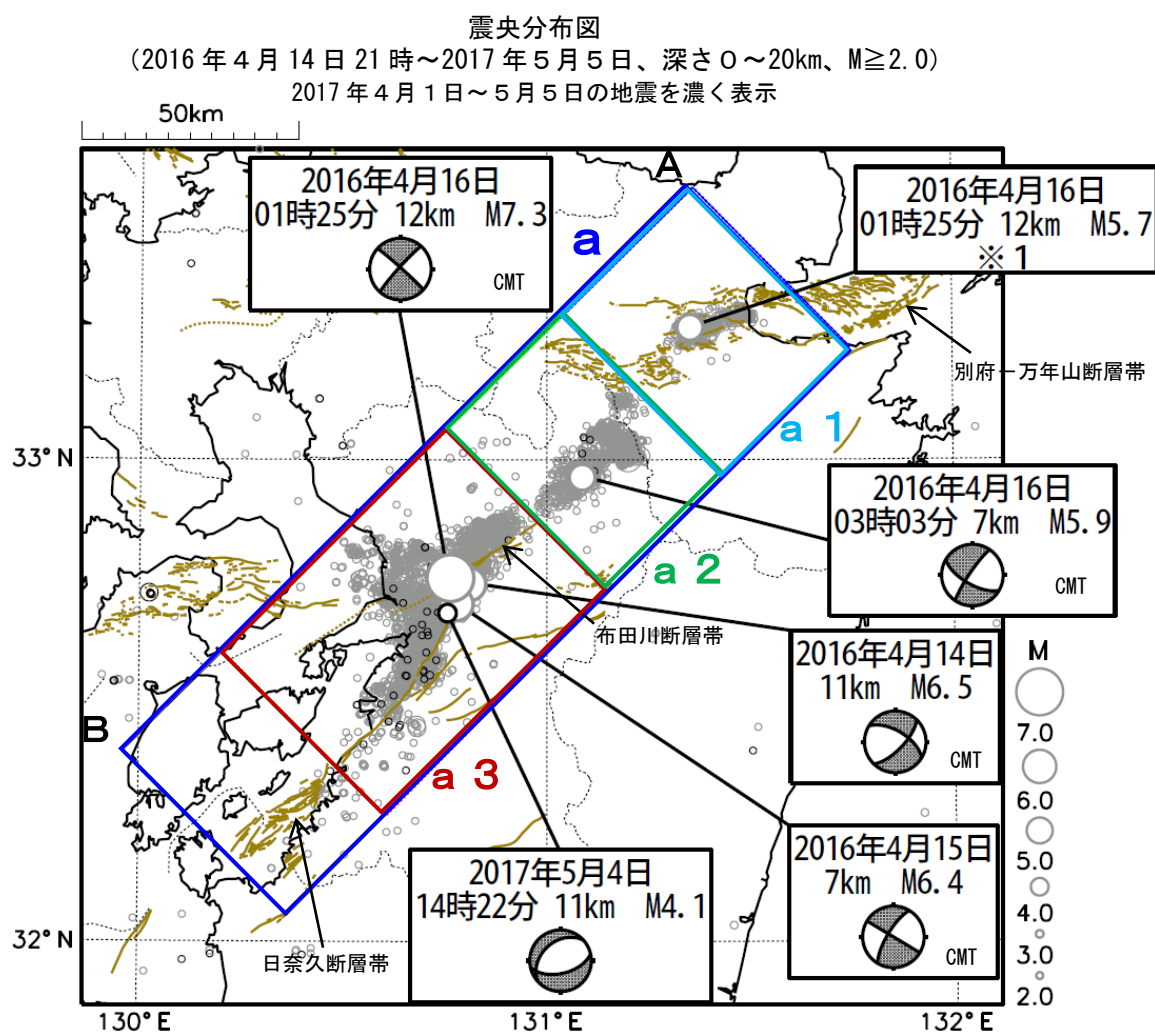
「平成 28 年（2016 年）熊本地震」

4 月に震度 4 以上を観測する地震は発生しなかった。5 月 4 日 14 時 22 分に、熊本県熊本地方で M4.1 の地震（最大震度 4、深さ 11km）が発生した。発震機構は、北北西－南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

熊本県熊本地方（領域 a 3）及び阿蘇地方（領域 a 2）における「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続している。大分県中部（領域 a 1）の活動は低下した。

4 月 1 日から 5 月 5 日までに震度 1 以上を観測した地震は 28 回（最大震度 4：1 回、最大震度 3：1 回、最大震度 2：7 回、最大震度 1：19 回）発生した。

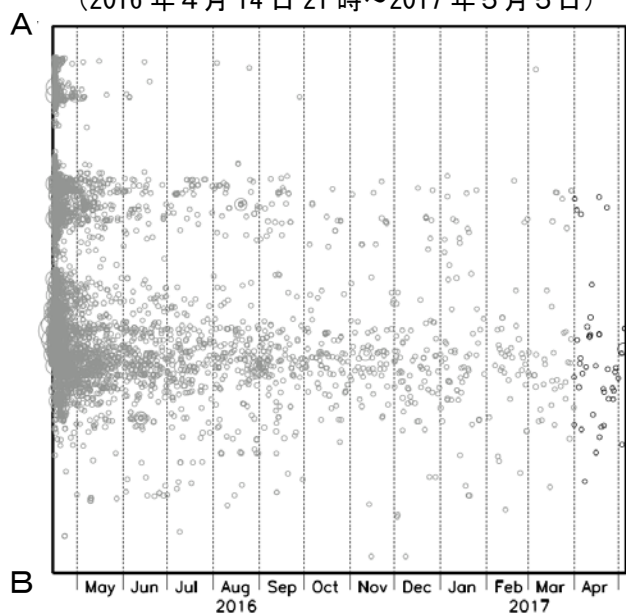
今回の一連の地震活動により、死者 228 人、負傷者 2,753 人、住家全壊 8,697 棟などの被害が発生した（2017 年 4 月 13 日現在、総務省消防庁による）。



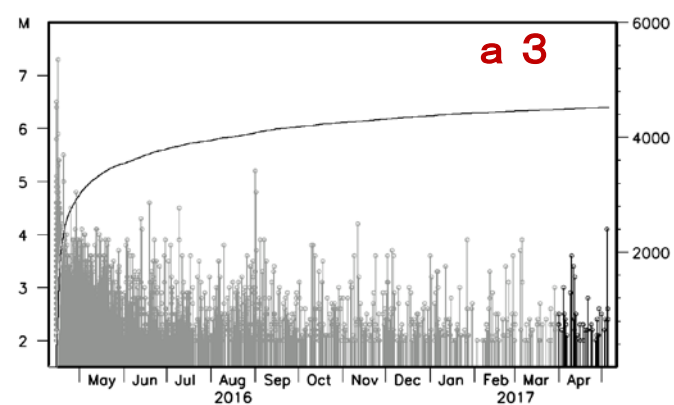
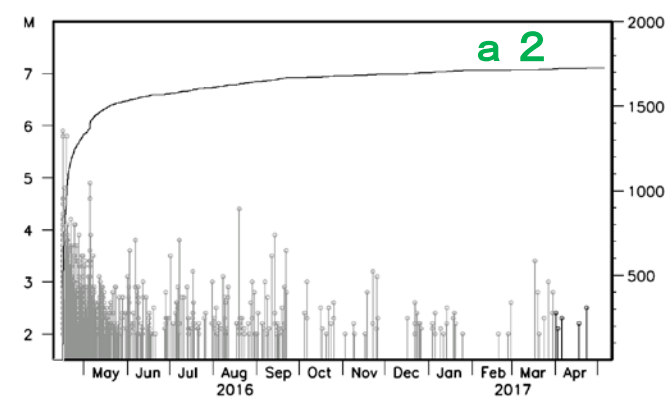
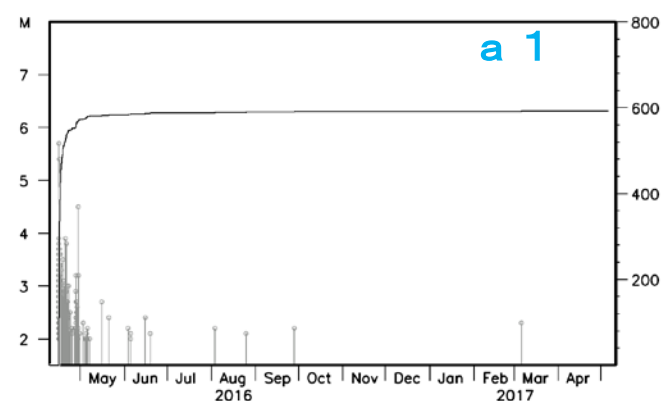
M6.0 以上の地震と各領域で最大規模の地震（4 月 1 日～5 月 5 日の地震は最大規模の地震）に吹き出しをつけている。

※ 1 M7.3 の地震の発生直後に発生したものであり、M の値は参考値。

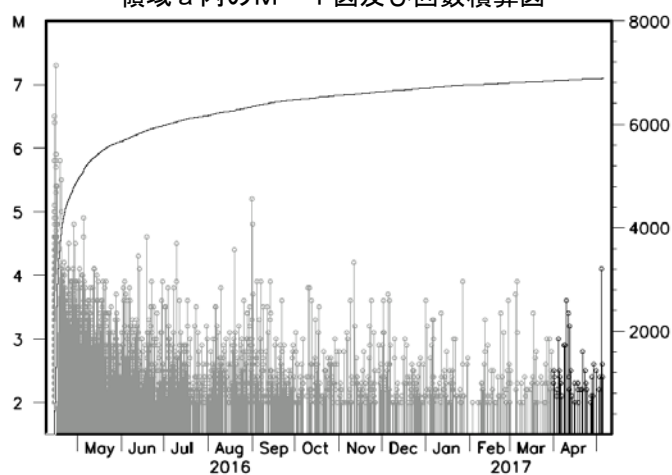
領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)
(2016 年 4 月 14 日 21 時～2017 年 5 月 5 日)



領域 a 1、a 2、a 3 内の M-T 図及び回数積算図
(2016 年 4 月 14 日 21 時～2017 年 5 月 5 日)

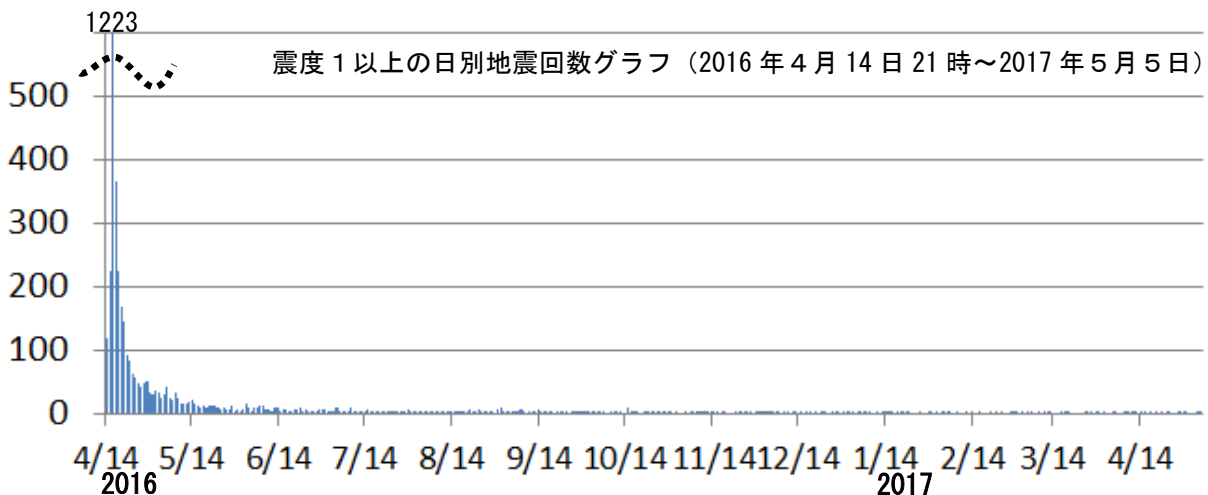


領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震回数

期間	最大震度別回数									合計	累計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7		
2016/4/14-4/30	1722	859	323	98	10	5	3	2	2	3024	3024
5/1-5/31	344	134	43	8						529	3553
6/1-6/30	147	51	14	4	1					217	3770
7/1-7/31	85	19	8	1						113	3883
8/1-8/31	77	28	3	2	1					111	3994
9/1-9/30	49	16	7	2						74	4068
10/1-10/31	41	10	4							55	4123
11/1-11/30	24	16	1	1						42	4165
12/1-12/31	31	10	3							44	4209
2017/1/1-1/31	22	8	1	1						32	4241
2/1-2/28	13	4	1							18	4259
3/1-3/31	15	9	1							25	4284
4/1	1									1	4285
4/2											4285
4/3											4285
4/4	1	1								2	4287
4/5	1									1	4288
4/6											4288
4/7											4288
4/8	1									1	4289
4/9		1	1							2	4291
4/10											4291
4/11	2	1								3	4294
4/12	1	1								2	4296
4/13											4296
4/14	1									1	4297
4/15	1									1	4298
4/16											4298
4/17	1	1								2	4300
4/18											4300
4/19	2									2	4302
4/20											4302
4/21	1									1	4303
4/22											4303
4/23	1									1	4304
4/24	1									1	4305
4/25											4305
4/26											4305
4/27	1									1	4306
4/28	1									1	4307
4/29	1									1	4308
4/30	1									1	4309
5/1											4309
5/2											4309
5/3											4309
5/4				1						1	4310
5/5		2								2	4312
合計	2589	1171	410	118	12	5	3	2	2	4312	4312



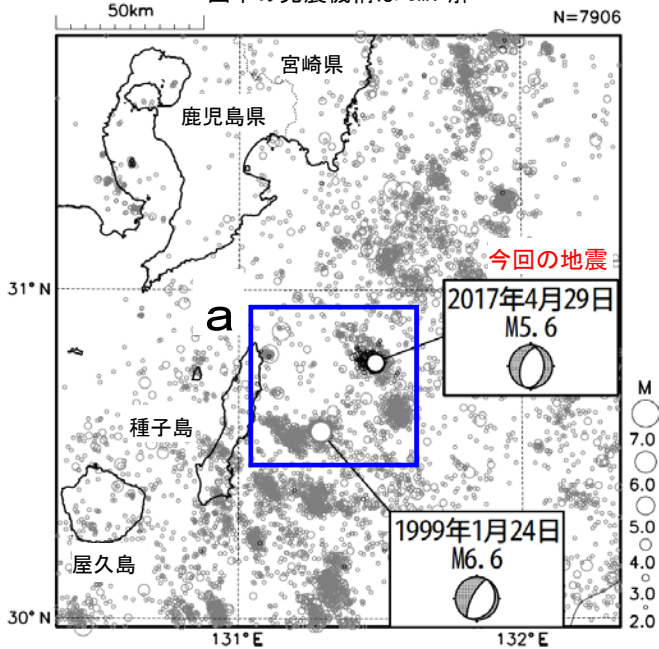
4月29日 大隅半島東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2017年5月7日、
深さ0～90km、 $M \geq 2.0$)

2017年4月1日～5月7日の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

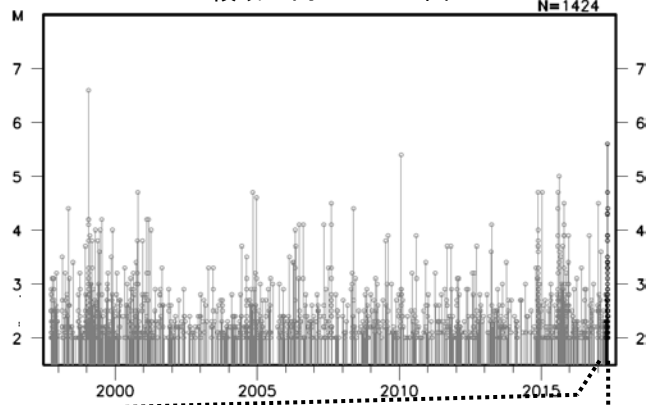


2017年4月29日21時32分に大隅半島東方沖でM5.6の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。この地震の発生後、震央付近(領域a)では地震活動がやや活発となり、5月7日までに震度1以上を観測した地震が6回発生した。

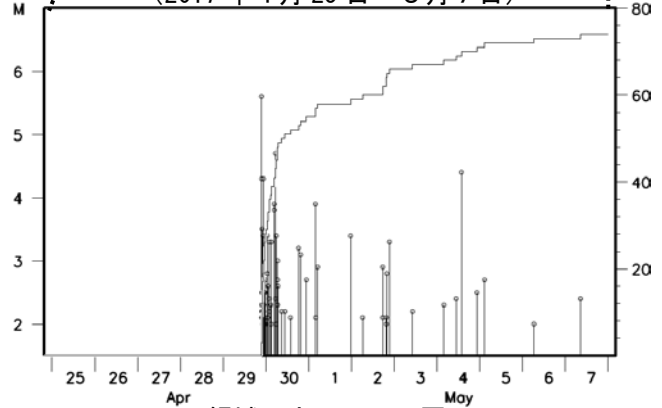
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では1999年1月24日にM6.6の地震が発生し、最大震度4を観測した。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)ではM6.0以上の地震が時々発生している。1923年7月13日にはM7.3の地震が発生し、種子島の中種子村(現、中種子町)で住家小破27棟、南種子村(現、南種子町)で住家小破約30棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

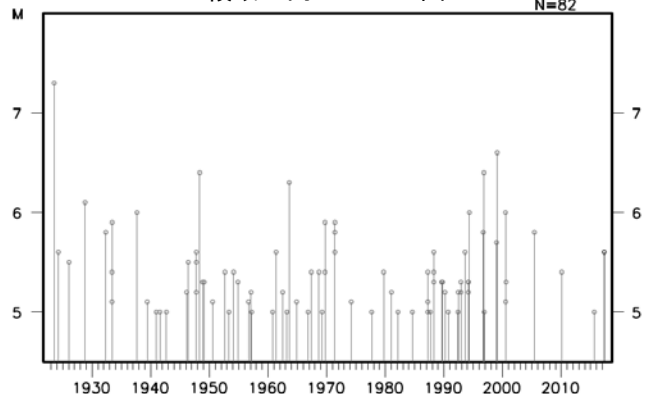
領域a内のM-T図



領域a内のM-T図及び回数積算図 (2017年4月25日～5月7日)



領域b内のM-T図



震央分布図

(1923年1月1日～2017年5月7日、
深さ0～90km、 $M \geq 5.0$)

